

令和6年度事業報告

令和6年度
事業報告

公益社団法人 横浜歴史資産調査会

令和6年度事業の概要

「歴史を生かしたまちづくり」に大切な歴史的資産を、都市計画の視点から戦略的に調査・保全・活用を開始してから36年が経過した。令和6年度は、歴史的建造物や近代化遺産等の歴史的資産を生かした魅力溢れるまちづくりに向けての調査研究を行った。また、保全・活用を目指した保護事業も積極的に実施した。

さらに、「歴史を生かしたまちづくり」を円滑に推進するため、広く市民や専門家等を対象に普及啓発、人材育成事業としてセミナーや講演、シンポジウム等を開催したほか、広報誌の発行配布を行った。

令和6年度に実施した具体的な事業は次のとおりである。

注) 氏名については敬称略。

所属・役職等については、事業実施時点のもの。

1. 歴史を生かしたまちづくり推進事業（公益目的事業）

(1) 調査事業

＜自主調査＞

① 旧湘南電鉄（現・京浜急行電鉄）瀬戸変電所の保存活用委員会の開催等（金沢区）

a. 保存活用委員会の開催等

旧湘南電鉄瀬戸変電所の保存活用を推進することを目的に、令和元年度に保存活用委員会を設置した。令和6年度は、3年ぶりに9月9日（月）に保存活用委員会を開催した。合わせて京急電鉄、横浜市都市デザイン室、当公益団体の3者で将来の保存活用に関する打ち合わせ会を行った。

その結果、京急電鉄で変電所線路側の壁面や屋根などの現況を調査し、令和7年度に修理を行った後、当公益団体に変電所建屋を寄贈する方向が示された。これまでの当公益団体が自ら調査し、修理する形とは一転、京急電鉄のご英断に敬意を表したい。この方向性を京急電鉄、横浜市都市デザイン室、当公益団体の3者共有し、力を合わせて瀬戸変電所を末永く守り伝えてゆくことになった。

【保存活用委員会構成メンバー】

委員長 後藤 治(当公益団体理事・工学院大学理事長)

委員 西澤英和(関西大学教授)

田村雅紀(工学院大学教授)

小野田滋(当公益団体専門委員・公益財団法人鉄道総合研究所アドバイザー)

山本博士(公益団法人神奈川台場地域活性化推進協議会理事長)

井上 彩(京浜急行電鉄(株)鉄道本部施設部工務課担当課長)

光田麻乃(横浜市都市整備局都市デザイン室長)

オブザーバー

織茂太郎(京浜急行電鉄(株)管財課長)

砂田康宏（京浜急行電鉄(株)管財課ほか
事務局

米山淳一(当公益社団常務理事)

菅井 稔(当公益社団主任研究員)

亀井泰治(当公益社団研究員) ※横須賀市職員による協力

＊事業化に伴う保存活用の調査

建物は、立地条件などから事務所としての用途が認められているが、イベント的に作品展示会等の開催が可能である。そのため鉄道愛好家、写真家、建築家などの事務所として貸し出しを予定している。また、貴重な鉄道考古品の収蔵も行う計画である。

このための専門家、関係者等による活用調査を行った。

日 時 令和7年1月16日（木）14時～16時

参加者 京急電鉄 工務部 井上 彩課長ほか

管財部 織茂太郎課長、砂田康宏ほか

専門家 金野幸雄ほか

横浜市都市デザイン室 岡部正嗣

当公益社団 相談役 西脇敏夫、理事 後藤 治、

主任研究員 菅井 稔、研究員 亀井泰治

常務理事 米山淳一

② 倉石忠雄家住宅現況把握調査等（長野県千曲市）

長野県北信地区の生糸や絹織物集散地として横浜と歴史文化的関係の深い千曲市稲荷山地区（国重要伝統的建造物群保存地区）にある旧倉石忠雄家住宅（元衆議院議員・労働大臣、農水大臣を歴任）の千曲市文化財センターの指導で借用を目指すとともに、文化財指定調査を行っていたが頓挫した。

このため当公益社団では、倉石家住宅の借用をあきらめ、文化交流拠点として相応しい伝統的町家を重伝建地区である善光寺街道稲荷山宿内で新たに調査することになった。

令和6年度は、矢島宏雄氏（元千曲市文化財センター所長）のご指導で、保全が必要とされる伝統的町家を紹介されることになり、所有者や近隣のNPO稲荷山蔵の会の皆さまにお会いし、ヒヤリング調査を行った。

調査日：令和6年8月29日（木）

矢島広雄(当公益社団研究員・元千曲市歴史文化財センター所長)

担 当：米山淳一（当公益社団常務理事）

＊なお、これに先立って当公益社団 森まゆみ理事により、稲荷山宿の現況調査を行っている。（令和6年6月16日（木）・17日（金）

地元案内＝矢島宏雄、当公益社団担当＝米山淳一

③ 旧モーガン邸再建計画等（藤沢市大鋸）

不審火で焼失した旧モーガン邸の再建を目指し、平成 29 年度に当公益社団で実施した復元再生計画調査の結果を踏まえ、再建に向けた再建委員会を組織し検討を行った。（委員名簿は（２）②参照。）

委員会では、具体的な再建のための資金、設計内容、活用、管理等に関する方向性を話し合った。

また、募金計画の検討を行い、この結果を踏まえ、事務局で作成したパンフを広く配布し、募金活動を行った。

さらに、具体的な再建手続きにむけて、ワーキング会議メンバーを中心に、藤沢市建築指導課等との調整をおこなった。

一方で、日常管理や運営を行っている「NPO法人旧モーガン邸を守る会」、土地の 7 割を所有する藤沢市（担当・生涯学習部郷土歴史課文化財担当）、当公益社団の 3 者で構成する「旧モーガン邸再建活用検討会」（ほぼ毎月第 3 金曜日に藤沢市役所で開催）にて、委員会での取り組み等を随時報告するとともに再建に向けた問題や課題について話し合った。

また、竣工時の姿を残す、中門の国登録有形文化財への登録に向けて文化庁、神奈川県、藤沢市と今後の取り組みを調整した。

＜負担金事業＞

歴史的建造物の保全計画案等 横浜市都市整備局からの負担金事業

歴史的建造物や近代化遺産等の歴史的遺産を保全・活用するための調査を実施した。調査は現地での歴史的資産の現状把握及び所有者へのヒヤリング、建物や文献調査、図面所見等の作成である。

調査成果は、当公益社団の公益目的事業である「歴史を生かしたまちづくり推進事業」等に活用するとともに、横浜市認定並びに登録歴史的建造物、横浜市指定文化財、及び国登録有形文化財、国重要文化財の方策に積極的に役立てることとする。

（ア）歴史的建造物保全・活用計画関連調査

① 歴史的建造物の概況調査等

a. 池谷家住宅主屋（港北区綱島東）

・現地調査、設計への助言

調査者：大野 敏（当公益社団専門委員・横浜国立大学院教授）

b. 山手 2 3 7 番館（中区山手町）

・現地調査、助言

調査者：関 和明（当公益社団専門委員・関東学院大学名誉教授）

c. ホテルニューグランド（中区山下町）

・保全活用の方針に関する相談

調査者：吉田鋼市（横浜国立大学名誉教授）

- d. 鈴木家住宅（保土ヶ谷区釜代町）
・保全活用の方針に関する相談
調査者：大野 敏（当公益社団専門委員・横浜国立大学教授）

② 歴史的建造物の調査及び所見等資料の作成

- a. 旧横浜市庁舎政策棟（中区）
・保全活用計画案の所見作成
調査者：吉田鋼市（横浜国立大学名誉教授）

- b. 旧川本家住宅（西区西戸部町）
・所見作成
調査者：小沢朝江（当公益社団専門委員・東海大学教授）

③ 登録、認定歴史的建造物に関する保全活用計画等の作成

- a. 旧根岸競馬場一等馬見所（中区根岸台）
・保全活用計画案の所見作成
調査者：水沼淑子（当公益社団専門委員・関東学院大学名誉教授）
- b. 旧川本家住宅（西区西戸部町）
・実測、図面作成、沿革に係る調査、保全活用計画の所見作成
調査者：小沢朝江（当公益社団専門委員・東海大学教授）

（イ）野毛都橋商店街ビルの建造物の現況調査

同建物は、昭和39年（1964）竣工の歴史的建物で、当公益社団法人が所有する横浜市登録歴史的建造物である。将来に亘り、横浜らしい都市景観を形成する重要な建物として保全・管理・活用したい。

そのため、建物の東側妻面基礎部分の構造体（軽量鉄骨）などの現状調査を行った。合わせて東妻面の破損個所の修復を行った。

調査者：中村 武（建築家・（株）アトリエ蔵）、
井上和廣（建築家）、長谷川 博（設備設計）、（有）光建装

（ウ）歴史を生かしたまちづくり相談室の実施と調査

歴史を生かしたまちづくり推進事業を円滑に進めるために、より広く市民等から関連の情報を頂く相談室を開設している。令和5年度は前年度からの継続5件であった。

① 西教寺（南区三春台）＊継続

昭和7年建造の鉄筋コンクリート造りである西教寺本堂は、住職や専属の設計業者から横浜市認定歴史的建造物または横浜市指定有形文化財への希望があり、当公益社団では令和元年度～、建物の現況調査や所有者へのヒアリング調査を行っていたが、令和5年度に横浜市文化財係担当者が西教寺を視察。令和6年度、横浜市指定文化財となった。

② 谷戸家住宅（磯子区滝頭・旧松野家住宅）＊継続

谷戸家住宅は、磯子区に残る昭和初期の近代和風建築である。所有者のご意向で、現状のまま住み続けたいとしている。

そこで、小沢朝江（当公益社団専門委員・東海大学教授）に所有者の意向を伺うとともに建物調査等を行い報告書をまとめた。その結果、所有者の意向により、国の登録有形文化財に申請し、令和6年に国登録有形文化財となった。

③ 旧井上良斎登り窯と谷戸の景観保全（南区永田東）＊継続

平成29年に南区役所区政推進課まちづくり担当と敷地内にお住いの川井興一氏からの依頼で相談室案件となり、平成29年度から現地を訪問。これが縁となり、再び南区から都市デザイン室に依頼があり、保存に向けた取り組みが始まった。

現在、市民団体である「登り窯と永田の自然を守る会」がこの地で活動しており、地区全体を将来に亘り保全し、後世に伝え残したいとしている。川井興一さんによると末永い保存を目指したいとしている。

④ 旧長濱検疫所一号停留所の保存（金沢区長浜）＊継続

明治期の検疫の拠点だった旧長濱検疫所施設の中でも一番大規模な木造建築が一号停留所である。現在は国の登録有形文化財で、厚生労働省の所有だが、施設機能が新たな地に移転するに伴い、解体の危機にある。これを地元で保全活用するべく活動しているのが「NPO法人野口英世よこはま顕彰会」である。同会は、現地での保全活用を目指すべく活動中で、保存に向けた相談があり、アドバイスや講演などを通じ、交流を深めた。

しかし、時が進むにつれ同NPO法人と地元町内会との保存活動や考え方のずれが表面化した。保存に向けた合意形成に至らぬまま、厚生省と横浜市の間では、近隣の「海の公園」への移設保存が決まった。

⑤ 伊藤美弓家住宅（鶴見区馬場）＊継続

公益社団法人緑の協会からの委託事業で職員や市民向けのセミナーや歴史講座を行っている。令和4年11月19日（土）の馬場花木園内古民家・藤本家で西脇敏夫（当公益社団監事）が行った横浜の歴史を生かしたまちづくり・アーバンデザイン50周年の歴史講座の参加者から「倒壊しそう」と相談があったのがこの案件。

これを受け、水沼淑子（当公益社専門委員・関東学院大学名誉教授）が現況把握にお伺いした。

ヒヤリングによると昭和35年年竣工の洋画家木下孝則氏のアトリエ建築である。戦後建築らしいモダニズムの外観を備えている。南側一部や塗装を更新しているが大部分は手がはいっていない。

伊藤美弓さんは、この建物を残して行きたいという意思をお持ちで、調整を続け実現に向けたアドバイスを行った。これをうけて年度は越えて7年度の4月に水沼淑子先生、都市デザイン室鈴木係長や担

当者、当公益社団担当で再度出向くこととなった。

**公益財団法人横浜市緑の協会からの受託事業
(俣野別邸庭園内歴史的建造物他での助言・指導)**

平成 29 年 4 月から公開された「俣野別邸庭園」(横浜市戸塚区)の管理運営
についての助言や同庭園の職員研修セミナーをはじめ、同協会が管理する山手
西洋館等の「○職員研修セミナー」、「●市民向け歴史講座」を令和 6 年度も行
った。

●令和 6 年 10 月 12 日(土) 11 時～12 時

市民向け講演会 馬場花木園・藤本家住宅

講師：安藤邦廣(つくば大学教授)

演題：「茅葺民家の暮らし方・住まい方」

○令和 6 年 11 月 18 日(月) 14 時～15 時

職員向け研修 伊藤博文邸

講師：島田浩和(横浜市役所)

演題：「我が国の文化財保護制度について」

○令和 5 年 11 月 21 日(木) 14 時～15 時

職員向け研修 俣野別邸

講師：菅 孝能(山手総合計画研究所会長)

演題：俣野別邸の魅力・佐藤秀三の仕事

○令和 6 年 12 月 19 日(木) 14 時～15 時

職員向け研修 俣野別邸

講師 米山淳一(当公益社団常務理事)

講演：「シルクが結ぶ町と文化」

○令和 7 年 1 月 16 日(木) 14 時～15 時

職員向け研修 俣野別邸

講師：小野田 滋(当公益社団専門委員・鉄道総合技術研究所)

演題：「鉄道遺産の保存の現状」

●令和 7 年 2 月 15 日(土) 15 時～16 時

市民向け講演会 俣野別邸

講師：内田青蔵(当公益社団専門委員・神奈川大学特任教授)

演題：「鎌倉の歴史的建造物・鎌倉文学館を中心に」

○令和 7 年 2 月 20 日(木) 14 時～15 時

職員向け研修 俣野別邸

講師：米山淳一(当公益社団常務理事)

演題：「鉄道遺産を生かしたまちづくりと観光」

○令和7年3月21日(木) 14時～15時

職員向け研修 俣野別邸

講師：末岡照啓（住友資料館研究顧問）

演題：「住友別子銅山について」

(2) 保護事業

<自主事業>

① 野毛都橋商店街ビルの保全・管理(横浜市中区)

平成29年9月に公益財団法人横浜市建築助成公社より寄贈を受けた「野毛都橋商店街ビル」の保全・活用を行った。

また、各店舗の故障した煙熱探知器、高価な主電気機器の取り換えや点検等をおこなった。また、道路占有料、固定資産税、火災保険などの必要経費を支払っているなど、維持管理にも万全を期している。おかげさまで、横浜らしい景観を維持する同商店街は、映画やTV、さらにコマーシャル・シャルのロケ地撮影に相応しい。このためリクエストが年間を通じてあり、大いに歴史文化的価値をアピールし、合わせて撮影に際し、建物保全のための寄付金(11本)を頂いている。

☆ロケ撮影を行った番組等(4本)

- ・テレビ朝日「地図にナイナイ TOWN」

(2024年5月20日放送)

- ・関西テレビ「アンタッチャブルの早速行ってみた」

(2024年8月27日火曜日放送)

- ・ロックバンド LET ME KNOW「真夜中のタクシー」ミュージックビデオ

(2024年12月6日リリース)

- ・A24制作海外映画「マーティ・シュプリーム」

(2025年公開予定)

④ 「建築家 J.H. モーガン自邸」(藤沢市)の再建・保存・活用

当公益社団では、「旧モーガン邸再建委員会」を設け、準備会を含めて、委員会を開催し、再建に向けた募金活動を行った。

また、敷地内の車庫、温室、ポンプ庫小屋、正門、中門等について火災保険、さらに敷地内トラブル対策のために損害保険に継続加入した。

NP0 法人旧モーガン邸を守る会、藤沢市生涯学習部郷土歴史課文化財担当と力を合わせて「モーガン邸再建活用検討会」(ほぼ毎月第3金曜日開催)を開催し、再建委員会と歩調を合わせたかたちで、事業を展開した。

また、「NP0 法人旧モーガン邸を守る会」主催の募金コンサートや庭園公開他の活用イベントに共催するなど積極的に協力した。

*なお、再建に係る資材や人件費の高騰などへの対策を考えるべく、専門家などと作戦会議を行った。

日時 令和6年9月9日(月) 14時～16時

場所 古民家カフェ 「蔵まえ」(藤沢市)

出席者 菅 孝能（山手総合計画研究所会長）
佐藤理沙（NPO 旧モーガン邸を守る会）
米山淳一（当公益社団常務理事）
菅井 稔（同 主任研究員）
亀井泰治（同 研究員）

◎旧モーガン邸再建委員会名簿

委員長 水沼淑子（当公益社団社員・関東学院大学名誉教授）
委 員 大野 敏（当公益社団社員・横浜国立大学院教授）
小沢朝江（当公益社団社員・東海大学教授）
菅 孝能（（株）山手総合計画研究所会長）
徳重淳子（NPO 法人旧モーガン邸を守る会理事長）
福永雪子（NPO 法人旧モーガン邸を守る会副理事長）
堀 靖子（NPO 法人旧モーガン邸を守る会理事）
栗山直子（NPO 法人旧モーガン邸を守る会理事）
佐藤里紗（NPO 法人旧モーガン邸を守る会理事）
事務局 米山淳一（当公益社団常務理事）
菅井 稔（当公益社団主任研究員）
亀井泰治（当公益社団研究員）

（３）普及啓発、人材育成事業

セミナー・シンポジウム等の開催及び刊行物の作成

歴史を生かしたまちづくりを推進するためには、市民、専門家、企業等の理解や参加が大切である。歴史的資産の保全・活用のための普及啓発を目的としたネットワーク事業やセミナー等の開催を以下のとおり行った。

＜自主事業＞

① シルクロード・ネットワーク・2024 白川村大会の開催支援

*** 当公益社団が代表幹事団体と事務局を担っている**

シルクロードネットワーク協議会は、設置 10 年を経過したのを機にシルクが繋ぐ全国の市町村との絆を一層強くしたいとの思いから、白川村での開催とした。白川村の合掌造りは、養蚕の工場で、一階は住居、二階はお蚕さんのお部屋である。三角形の合掌造りは養蚕の為に生まれた民家でもある。

両日は、全国から約 40 名の参加があり、盛会となった。

なお、当公益社団がネットワークの代表幹事団体と事務局を担っている。

＜日程＞

日 時 3 月 7 日（土）～3 月 8 日（日）

場 所 白川村役場大会議室

*NPO 法人建築・街・文化再生集団（RAC 会）と共催

*後援：白川村、大日本蚕糸会

○3 月 7 日（土） 13 時 30 分～17 時

開会あいさつ	米山淳一（当公益社団常務理事）
来賓挨拶	宮丸和之（白川村教育長）
講 演	古賀 学（当公益社団理事長・松蔭大学教授） 文化観光資源としての白川郷合掌集落
開催地報告	尾崎達也（白川村教育委員会課長補佐） 「世界文化遺産登録の白川郷合掌集落の現状」
事例報告	新庄市（山形県）、日野市（東京都）、南牧村（群馬県） 福光のまちづくり（富山県南砺市）、 前橋絹文化研究会 （群馬県前橋市）ほか
* 交流会	白川郷の湯

○3月8日（日）10時～12時 尾崎達也さんのご案内で見学会
 白川郷の湯—展望台—和田家（国重要文化財）—
 荻町合掌集落散策（国重要伝統的群保存地区）—明善寺庫裏（国重要文化財）
 一田島家養資料館（国登録有形文化財—昼食後、解散）
 * 田島家では、館長の三島敏樹さんから白川村の養蚕のお話を聞きました。

② 日本鉄道保存協会総会 2024 馬路村大会の開催支援

*** 当公益社団法人が代表幹事団体と事務局を担っている。**

令和6年10月18日（金）～19日（土）に柚子と森林鉄道で知られる馬路村（高知県）で総会、見学会を開催した。柚子で村おこしを行い、全国にその名をとどろかせた馬路村は、かつて林業で栄えた村だった。材木を山から奈半利の海辺の港まで運び出したのは森林鉄道。材木や生活物資、村人も運びました。当時、活躍した車輛は魚梁瀬地区で動態保存され、廃線跡に残る隧道や橋梁などの鉄道遺産の多くは、近代化遺産として国指定重要文化財になっている。馬路村では、これらの歴史的遺産を地域活性化に生かす活動を推進している。なお、森林鉄道は日本遺産に登録されている。両日は全国から約60名が参加し盛会となった。

◎10月18日（金）

場 所 馬路村集会センター「うまなび」「馬路温泉」

受 付 「うまなび」14時30分

総 会

主催者挨拶 交通協力会顧問・日本鉄道保存協会顧問 菅 建彦

代表幹事団体挨拶 公益社団法人横浜歴史資産調査会常務理事 米山淳一

来賓挨拶 馬路村長 山崎 出

開催地報告1 「馬路村の紹介」ゆずロードへ
馬路村農業協同組合長 東谷望史

開催地報告2 「森林鉄道を生かした地域づくり」
中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会事務局長 中嶋健次

開催地報告3 「馬路村魚梁瀬地区の活性化に向けて」
集落センターやなせ 集落支援員 日浦数弘

総括・閉会挨拶 花上嘉成（日本鉄道保存協会顧問）

＊交流会「馬路温泉」

◎10月19日（土）

見学会

馬路村魚梁瀬丸山公園

魚梁瀬森林鉄道体験乗車と保存機関車見学他

廃線跡の鉄道遺産の橋梁などを見学し、解散

③「コンサート in ヘリテージ～ピアノが案内する横浜の歴史とまち Vol. 10」

10回目を迎えたピアノコンサートは陽気に楽しく

日 時 令和7年2月1日（土）午後2時から4時30分

場 所 横浜山手ベーリック・ホール

演奏者 後藤 泉（ピアニスト）

解説者 長谷川正英（横浜市）

曲目 JS バッハ～グノー 「アヴェ・マリア」

ショパン：ワルツ [子犬]

ブラームス：16のワルツより

サティ：ジムノペディ第一番

サティ：最後から2番目の思想

ショパン：英雄ポロネーズ

ヨハン・シュトラウス2世：春の声

ヨハン・シュトラウス2世：南国のバラ

J. シュトラウス：トリッチトラッチポルカ

J. シュトラウス：美しき青きドナウ

主 催 公益社団法人横浜歴史資産調査会

後 援 公益財団法人横浜市緑の協会

協 力 横浜市都市デザイン室

<負担金事業>

歴史的建造物に関する調査・研究・普及啓発等業務

◎第46回歴史を生かしたまちづくりセミナーと見学会の開催

—西洋館はみんなの宝—

横浜を始め開港都市では多くの西洋館が保存活用され、住宅として住み継がれております。一方、保存、公開されている西洋館は、文化観光資源となり、地域活性化などに活用されております。しかし、建物は時代ものだけに保存、管理には問題や課題が山積しております。先進事例の六華苑（三重県桑名市）をはじめ開港都市の函館、神戸からゲストをお招きし、西洋館の将来に亘る維持管理、さらにその魅力を探ります。

セミナー

日 時 令和6年9月28日（土）14時～17時

場 所 山手ベーリック・ホール

講 演 石神教親（桑名市観光課主幹・六華苑館長）

パネリスト

村岡武司（函館元町倶楽部）
浜田有司（神戸シティー・プロパティ・リサーチ
シニアコーディネーター）
山本博士（三陽物産代表取締役）
大橋早苗（公益財団法人横浜市緑の協会
山手西洋館等代表統括責任者）
コーディネーター 米山淳一（当公益社団常務理事）

共 催 公益社団法人横浜歴史資産調査会
公益財団法人横浜市緑の協会
後 援 横浜市都市整備局

◎横濱新聞第39号の発行・配布

- 1 P JH モーガン設計の傑作と言われる根岸一等馬見所の魅力
- 2 P 歴史的風致維持向上事業（国交省）の横浜市の取り組み
- 3 P 横浜市認定歴史的建造物の制度と事例の紹介
- 4 P 公益社団法人横浜歴史資産調査会の取り組み
京急電鉄瀬戸変電所（金沢区）の保存と活用、
モーガン邸の再建に向けて他

2. 会員事業

当公益社団の事業の益々の発展を目的に、広く継続的な支援を得るために賛助会員、団体会員、ヨコハマヘリテイジ・サポートクラブ個人会員の募集を行いました。

また、個人会員、賛助会員、団体会員等を対象とした会報誌「ヨコハマヘリテイジスタイル」を年に4回（季刊）発行・配布するとともに、ホームページを通じて活動を広く発信した。

◎「ヨコハマヘリテイジスタイル各号の内容」

「ヨコハマヘリテイジスタイル 2024 年夏号」（8 月 1 日発行）

- 1 ページ：保存と経営による地域ブランドの形成
古賀 学（当公益社団会長）
- 2～5 ページ：〈今年の仕事〉公益社団法人横浜歴史資産調査会
令和6年度事業計画
・寄付のお願い
旧モーガン邸再建のための寄付
歴史を生かしたまちづくりファンド
- 6～7 ページ：シルクロード・ネットワーク・横浜フォーラム 2023 報告
- 8 ページ：・第46回歴史を生かしたまちづくりセミナー開催告知
・日本鉄道保存協会 2024 年度総会・見学会開催告知
・歴史を生かしたまちづくり相談室案内

「ヨコハマヘリテイジスタイル 2023 秋号」(11 月 1 日発行)

1 ページ：西洋館と生活文化

古賀 学（当公益社団会長）

2～3 ページ：第 46 回歴史を生かしたまちづくりセミナー

「西洋館はみんなの宝」開催報告

米山淳一（当公益社団常務理事）

4 ページ：・旧モーガン邸再建のためのご寄付のお願い

寄付者名一覧

- ・日本鉄道保存協会 馬路村総会・見学会開催報告
- ・第 21 回「旧モーガン邸募金コンサート」開催報告
- ・コンサート in ヘリテイジ
「ピアノが案内する横浜の歴史とまち Vol.10」
後藤泉さんピアノコンサート開催のお知らせ
- ・シルクロード・ネットワーク
白川郷フォーラム 2024 開催のお知らせ
- ・歴史を生かしたまちづくり相談室案内

「ヨコハマヘリテイジスタイル 2024 早春号」 (2025 年 1 月 31 日発行)

1 ページ：鉄道資産の保存と活用

後藤 治（当公益社団理事・工学院大学教授）

2～3 ページ：近代化資産としての鉄道遺産

旧湘南電鉄瀬戸変電所

米山淳一（当公益社団常務理事）

碓氷峠鉄道施設群

萩原豊彦（NPO 法人碓氷峠歴史文化遺産研究会理事長）

愛岐トンネル群

村上真善（愛岐トンネル群保存再生委員会理事長）

4 ページ：・シルクロードネットワーク白川郷フォーラム 2024

「白川郷合掌造りは絹遺産の宝庫」開催のお知らせ

- ・第 18 回横浜山手芸術祭参加
コンサート in ヘリテイジ Vol.10
「ピアノが案内する横浜の歴史とまち」開催のお知らせ
- ・モーガン邸再建のためのご寄付のお願い
- ・歴史を生かしたまちづくり相談室案内
- ・歴史を生かしたまちづくりファンド

「ヨコハマヘリテイジスタイル 2024 春号」 (2025 年 3 月 31 日発行)

1 ページ：根岸競馬場と自宅にみる建築家モーガンの和風デザイン

水沼淑子（関東学院大学名誉教授・当公益社団法人専門委員）

2 ページ：モーガン邸の魅力ー日本各地のモーガン作品ー

水沼淑子（関東学院大学名誉教授・当公益社団法人専門委員）

3 ページ：みんなで挑む、焼失したモーガン邸の再建プロジェクト

米山淳一（当公益社団常務理事）

4 ページ：・シルクロードネットワーク白川郷フォーラム 2024 開催報告

- ・コンサート in ヘリテージ
「ピアノが案内する横浜の歴史とまち Vol.10」開催報告
- ・モーガン邸再建のためのご寄付のお願い
- ・歴史を生かしたまちづくりファンドご寄付のお願い
- ・歴史を生かしたまちづくり相談室案内
- ・令和6年に「モーガン邸再建」と「歴史を生かしたまちづくり
ファンド」ご寄付いただいた皆様の名簿一覧

3. 歴史的建造物等に調査にかかる専門委員会の開催

令和6年度総会で決議され、設置された当公益団体の専門委員の委員会を開催し、調査事業等に関し協議を行った。

日 時 令和7年2月21日（金） 13時～15時
場 所 さくらワークス会議室
出席者 増渕文男（当公益団体副会長・専門委員会委員長）
小野田滋（当公益団体専門委員・鉄道総合技術研究所）
中藤誠二（当公益団体専門委員・関東学院大学教授）
水沼淑子（当公益団体専門委員・関東学院大学名誉教授）
西脇敏夫（当公益団体相談役）
オブザーバー
鈴木 淳（横浜市都市整備局都市デザイン室係長）
事務局
米山淳一（当公益団体常務理事）

以 上